

【表 3・(3)】研究成果(7)

サブテーマ名：ミネラル吸収機構とミネラル吸収促進食素材の開発 小テーマ名：DFA の有効性と作用機構に関する動物試験															
サブテーマリーダー 北大院農 教授 原 博 研究従事者 雇用研究員 志賀一希															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 病態モデル動物(胃切除及び運動負荷系)を用いたDFA とカルシウム、骨強度への影響の解明 研究の独自性・新規性 カルシウムの重度障害を有する小動物を用いたDFA の促進効果評価 運動負荷を取り入れた骨強度評価系 研究の目標 DFA のカルシウム吸収促進効果における <i>in vivo</i> 評価系(フェーズ テーマ) 達成率 100%															
研究の進め方及び進捗状況 カルシウム吸収が極度に低下する胃切除ラット及び独自の運動負荷ラットを用い、DFA の影響を解析した															
主な成果 具体的な成果内容： 胃切除ラット及び運動負荷ラットは、DFA の投与により、カルシウム吸収が促進され、かつ骨強度の改善がみられた。 特許件数：0 論文数：0 口頭発表件数：2															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 機能性食素材開発では <i>in vitro</i> 試験、 <i>in vivo</i> 試験、ヒト介入試験の3段階をもって、その機能証明を行うことから、本研究はその一環として実施、運動負荷系の結果はユニークである。 2 実用化に向けた波及効果 現在、共同研究機関により、ヒト介入試験を行い、実用化を目指している。															
残された課題と対応方針について 特になし															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	0	0	0	0	7,034	0	7,034	0	0	0	0	0	0	0	7,034
設備費	0	0	0	0	5,811	0	5,811	0	0	0	0	0	0	0	5,811
研究費	0	0	0	0	2,434	0	2,434	0	0	0	0	0	0	0	2,434
旅 費	0	0	0	0	177	0	177	0	0	0	0	0	0	0	177
その他	0	0	0	0	294	0	294	0	0	0	0	0	0	0	294
小 計	0	0	0	0	15,750	0	15,750	0	0	0	0	0	0	0	15,750
代表的な設備名と仕様 [既存 (事業開始前) の設備含む] JST負担による設備：三次元液体クロマトグラフ、偏光ゼーマン原子吸光度計 地域負担による設備： -															